

一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会

プライマリ・ケア認定薬剤師研修会＋生涯学習委員会共催

「ポートフォリオ作成のコツ」、「禁煙指導からポートフォリオを作る」

「ポリファーマシーを考える ～マスコミによる情報とくすりの問題～」

(大阪 2016 年 10 月 10 日 月曜日・体育の日)ご案内

【一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会は日本医学会の第 109 分科会です。そして、プライマリ・ケア認定薬剤師制度は公益社団法人薬剤師認定制度認証機構(CPC)から「特定領域」の認定制度としての認証(認証番号 P02)を取得いたしております。】

午前の研修は、患者中心の医療に携わる医療職の「自己の成長記録」として、また「評価のツール」として有用性が注目されている「ポートフォリオ」について、基礎からコツ、実践までを集中して学びます。

午後の研修は、最近話題のポリファーマシー問題です。学会での生涯教育セミナー、薬剤師研修会そして学術大会での実績をもとに、実践している医師と薬剤師を講師にスモールグループ形式で学びます。

最近の糖尿病治療について、治療目標の定めかたから処方まで、医師の思考回路を理解し、何を目標にどんな処方箋を書くかの「専門性」にトライします。

時代の求めるブラッシュアップにお勧めの研修会です。生涯学習委員会との共催で参加の医師にも単位付与があります。(細則による必須領域 A, C, D, E, I, J)

要 項		
1	主 催	一般社団法人 日本プライマリ・ケア連合学会 プライマリ・ケア薬剤師認定制度委員会 + 生涯学習委員会
2	研修開催日	平成28年10月10日(月・体育の日)
3	研修会場	新大阪丸ビル別館 4階 533-0033 大阪市東淀川区東中島 1-18-22 案内図 http://marubiru-bekkan.com/access.php
4	認定単位	薬剤師:4単位(認定薬剤師単位)、医師:5単位(更新のための医師単位)を付与
5	受講資格	薬剤師、医師、医療職、医療関係者
6	定員	72名(スモールグループ形式)
7	受講申込	締切り:平成28年9月27日(火)午後5時 ホームページからの申込による先着順となり、定員になり次第締切ります。 電話、ファクシミリ、メールによる申込は受け付けておりません。
8	受講振込	申込を受理後、順次ご入金方法についてメールでご案内させていただきます。 ※ 指定期日以内にお振込みの確認ができない方は、キャンセル扱いとなりますのでご留意願います。
9	受講料	11,000円 但し、日本プライマリ・ケア連合学会会員は9,000円 ※ 受講料入金後のキャンセル又は欠席の場合、原則として受講料の返金はできません。
申し込み先 : 日本プライマリ・ケア連合学会事務局担当係 プライマリ・ケア認定薬剤師研修会事務局 〒550-0001 大阪府大阪市西区土佐堀 1-4-8 日栄ビル 703A 有限会社あゆみコーポレーション内 TEL:06-6449-7760 FAX:06-6441-2055 jpca@a-youme.jp		

プログラム

2016年10月10日(月・体育の日)

9:00～	受付
9:20～10:50	<p>①「これで安心、ポートフォリオ作成のコツ」</p> <p style="text-align: right;">講師:大島 民旗</p> <p>自己の成長記録として、また評価のツールとしても有用性が注目されているポートフォリオ。しかし「レポートは書いたことあるけど、ポートフォリオってよくわからない」という声はまだ多いのが現状です。家庭医療専攻医の書いた「できかけポートフォリオ」を添削してみ、「違いの分かる」薬剤師を目指しましょう。 (細則による必須領域: A, D, J)</p>
11:00～12:30	<p>②「禁煙指導の関わりから、ポートフォリオをつくってみよう」</p> <p style="text-align: right;">講師:蓮間 英希</p> <p>行動変容の代表格である禁煙指導の関わりについてのポートフォリオを実際に作成するワークをしてみましょう。行動変容・禁煙指導のレクチャーの後、症例を提示して、どのような視点でポートフォリオを作成していけば良いか、が気づけるワークショップにしたいと思います。 (細則による必須領域: A, E, J)</p>
12:30～13:20	昼食 (各自お取りください)
13:20～16:30 (休憩時間を含む)	<p>③④「ポリファーマシーを考える ～マスコミによる情報とくすりの問題～」</p> <p style="text-align: right;">講師:北 和也、町谷 安紀、稲生 貴士</p> <p>最近、ポリファーマシー問題に関する認識が加速度的に広がりつつあり、処方について広く関心がよせられるようになりました。一方、マスコミが過激な情報提供を行うことで、患者さんおよび医療現場は混乱しております。 このような状況でわれわれ医療者はどのように関わって行けばよいか、今一度真剣に向き合い、どのように対応して行けばよいか一丸となって考える場を設けたいと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①スモールグループでの症例検討・シェア・発表 ②転倒についてのミニレクチャー ③ロールプレイ ④まとめ・ミニレクチャー ⑤具体的なアクションプラン作成レジメ(200字以内) <p>(細則による必須領域: A, C, D, I, J)</p>

20分以上の遅刻・早退は原則単位になりませんのでご注意ください。

【講師紹介】

(敬称略)

大島 民旗	淀川勤労者厚生協会附属西淀病院 病院長
蓮間 英希	淀川勤労者厚生協会附属西淀病院 地域総合内科
北 和也	医療法人やわらぎ会 やわらぎクリニック 副院長
町谷 安紀	社会医療法人生長会 阪南市民病院 薬剤師
稲生 貴士	医療法人社団慈恵会 新須磨病院 薬剤師